



かながわコミュニティカレッジ

# 活動報告

Kanagawa Community College

令和7年度版



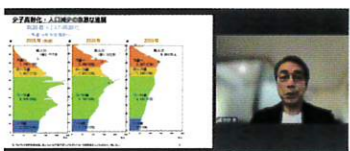
## かながわコミュニティカレッジとは

かながわコミュニティカレッジは、共に支え合う共助の社会づくりに向けて、地域の課題解決や活性化などに取組む県民の「学びの場」です。年間を通じ、多彩な講座を開催し、NPOやボランティア活動等に必要な知識や技術を体系的に学ぶことができます。



Topic 1 無料の特別講座を開催

地域コミュニティを考えるきっかけに



無料オンラインセミナーには地域や社会と関わりたい方、ボランティアやNPOに興味がある方など、たくさんの方にご参加いただきました。「よきこと」をつなげる、「よき存在になる」をテーマとした基調講演のほか、令和7年度開催講座の紹介も行いました。

Topic 2 現場体験で深まる理解

つながりと拠点づくりのリアルを知る

『人と人のつながりづくり、拠点づくり』の第3回は、地の居場所でのボランティア体験。開店の準備や配膳、子どもたちの見守り等を手伝いました。現場の空気や交わされる声がけ、場づくりの工夫に直に触れながら、地域に根ざした居場所の意義や大切さについて、理解を深めました。



Topic 3 多様性の視点で考える

自然豊かな横須賀市で学ぶ災害救援

『多様性の視点から災害と避難所・避難生活を考える』講座では、高齢者や障がい者、子育て家族など、災害時の多様な視点での支援を学びました。避難所運営ゲーム（HUG）で出される課題の解決策を考え、実践しながらの体験も行いました。



Topic 4 今年度最多の75名

講義室ではなくホール開催

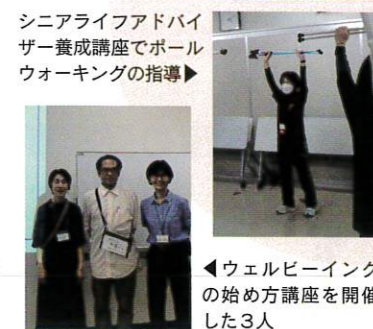
毎年多くの申込みにより抽選となる『発達障がい児地域支援コーディネーター養成講座』。より多くの方に受講いただけないか主催団体様と相談し、『基礎編』は申込みされた方全員にご受講いただくことに！75名の受講生が並ぶ光景は圧巻でした。



Topic 5 講座で学んだことを活かす

受講生が講師やスタッフとして活躍

令和5年度の講座受講生が団体を立ち上げ、『ウェルビーイングの始め方』講座を開催しました。初の講座運営でしたが、企画から講座当日の進行・フォローアップまで、とても丁寧な運営で、団体の穏やかで温かい空気に包まれてました。『シニアライフアドバイザー養成講座』ではボールウォーキングの実技指導をされた方もいます。他にも『防災教育ファシリテーター養成講座』ではファシリテーターとして登壇するなど、団体に入り活躍しているお話も耳にしています。多くの講座で受講生が早くも学びを活かし活動している姿を多く見ることができ、事務局一同、大変嬉しく思います。



傾聴講座(入門編・実践編)
毎年多くのお申込みがある傾聴講座、今年度は『入門編①』『入門編②』『実践編』の3講座の開催となりました。新しく取り入れられたのは『ユーモアコミュニケーション』。「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しい」を合言葉に、元気に声を出し、体を動かし、笑顔でいっぱい3時間となりました。

こどもまんなか社会の家庭サポート講座(妊娠期～学童期)
家族や子育ての形が大きく変わっている現代、若い世代からシニア世代までの想いをつなげて地域の支え合いを広げる講座です。大学教授や心理士、看護師等多彩な講師のお話を聞き、子育て支援の現状を丁寧に学びました。

地域で支える、外国につながる子どもやその家族へのサポーター養成講座
外国人支援をしている方のリアルな活動が伝わる講義に加え、「あーすぶらざ」や「多言語支援センターかながわ」に見学に出かけるなど、毎回ワクワクする講座でした。

大人の発達障がいとひきこもりを考える講座
「生きづらさ」を感じる方に寄り添い、想いを伝えるにはどうすればいいのかが。現場の現状と対応を学び、ワークで話し合いました。

地域活動リーダー養成講座
「近助力」をキーワードに、地域が家族の機能を持てるようになるにはどうすればいいのを考えました。

NPO・ボランティア団体の活動と運営 実務講座
オンライン開催は、遠方にお住まいの方も受講可能なことも魅力の一つ。本講座は、46名の方にご受講いただきました。

INTERVIEW | 修了生インタビュー | あなたの「コミカレで学んだこと」を教えてください
インタビュー 詳細はこちら

ボランティア団体の広報力を高めるための基礎講座
講師では他団体の活動を知ったり隣の人と話し込んだり、対面講座の良さを実感。ワークでは広報だけでなく団体の目指す姿を整理できました。

地域でつながるあなたの第一歩「ウェルビーイングの始め方」～コミュニティ活動から見つける新しい自分～
定年退職を機にコミカレ講座を受講し、3回に渡る講座で自分のウェルビーイングを実践している人たちの活動を知ることができました。

令和7年度受講生の声
まだまだ学ぶことがたくさんあり、何歳になっても仕事、学びをあきらめない事に気づけた。
好きなことをする、それが地域課題の解決や生きがいになったりしている。自分もそのような活動をしたい。

コミカレ通信
広報の取り組み
事業20周年
コミカレ講座チラシを配架していただいている市民活動支援センターなどの施設に伺い、各施設でチラシ配架スペースが減少している現状を知りました。

令和7年度の受講者数

1,083名

主催講座 819名  
連携講座 201名  
特別講座 63名

※主催講座とは…県が主催者となり、講座の企画実施を委託して行う講座。  
※連携講座とは…講座企画提案団体が主催する講座。  
※特別講座とは…ボランティア活動未経験者に向けた無料講座。

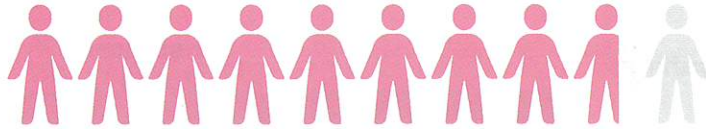
受講者数の推移



令和6年度修了生アンケートより

Q. 修了した講座は、その後の地域活動や生活に役立ったか？

「役立った」「少し役立った」と答えた人が **87.6%**



「大変役立った」「少し役立った」と回答した修了生は、どのようところが役立ったか。(複数回答可)

- 必要な知識が得られた 76.7%
- 従来活動を充実させるきっかけとなった 30.8%
- 他の受講生・講師と繋がりが出来た 16.7%
- 新たな活動のきっかけとなった 15.0%
- その他 (未回答含む) 14.2%

令和6年度修了生アンケート & 近況報告より

ボランティア活動関連に接するのが初めてでしたが、講座内容がわかりやすく個人的な生活の中で役立つ知識も得ることができました。講師の方々、スタッフの方々、参加者の方々、普段接する機会がない魅力的な人が多くて、とても楽しかったです。  
【災害ボランティア入門講座】【傾聴講座 (実践編)】

日常にも大きく通じる内容でした。講師・ゲスト・ファシリテーターの皆さんも親切で一緒に考えてくださり、モチベーションが毎回あがる講座でした。少しずつ仕事に取り入れています。今後は年に1回コミカレの講座を受講し、自分の力を少しずつ上げて行けたらと思います。どうしても年齢と共にパフォーマンスは下がるので、あのおばあさん出来ないけれどキラキラしてるなと思ってもらえるシルバーになれたらと思います。(近況報告)

高齢者のサロンをしています。7月から老人ホームで傾聴のボランティアを始めます。皆さんが喜んで下さるといいなと思いつつ、実は私が一番ボランティアを通して元気と優しさをいただいています。(近況報告)

素晴らしい会計講座、誠にありがとうございました。おかげさまで会計の基礎から丁寧に学ぶことが出来、決算報告書も作成できるようになりました。団体の事務局長としてお金を預かる立場において、大変心強く、個々の事務作業に大いに役立っております。スタッフの皆様にもとても親切にして頂き、感謝の気持ちでいっぱいです。【NPO会計講座】

大人のひきこもりと発達障がいを考える講座を受講しました。当事者や当事者ご家族の話聞く事で、皆、人それぞれの思いや行動があり、決めつけてはいけないという事を学びました。受講後はその教えを忘れずにボランティア活動をしています。(近況報告)

コミュニティカレッジ講座で一緒に学んだ方のご縁で、小学校で支援教員として活動を始めました。子育ても一段落して新たな生きがいを見つける事ができました。今後も勉強を重ねて、子どもたちの幸せに少しでも役立ちたいと思います。(近況報告)



発行：かながわコミュニティカレッジ事務局  
(運営団体：一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ)

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2かながわ県民センター11階  
TEL.045-620-0743 FAX.045-620-0745

